

I 理事長挨拶

地方独立行政法人岩手県工業技術センター
理事長 阿部 健



「がんばろう!岩手」
～技術で復興をお手伝いします～

企業の皆様には、日頃から岩手県工業技術センターをご利用頂きありがとうございます。
当センターでは、「創るよろこび・地域貢献」、そして「企業の皆様と一緒に」を基本姿勢として、皆様
が、使いやすいセンターを目指すとともに、各種研究と商品化に向けた取組みを通じて、これまで地域
企業の発展と県内産業の振興に努めて参りました。

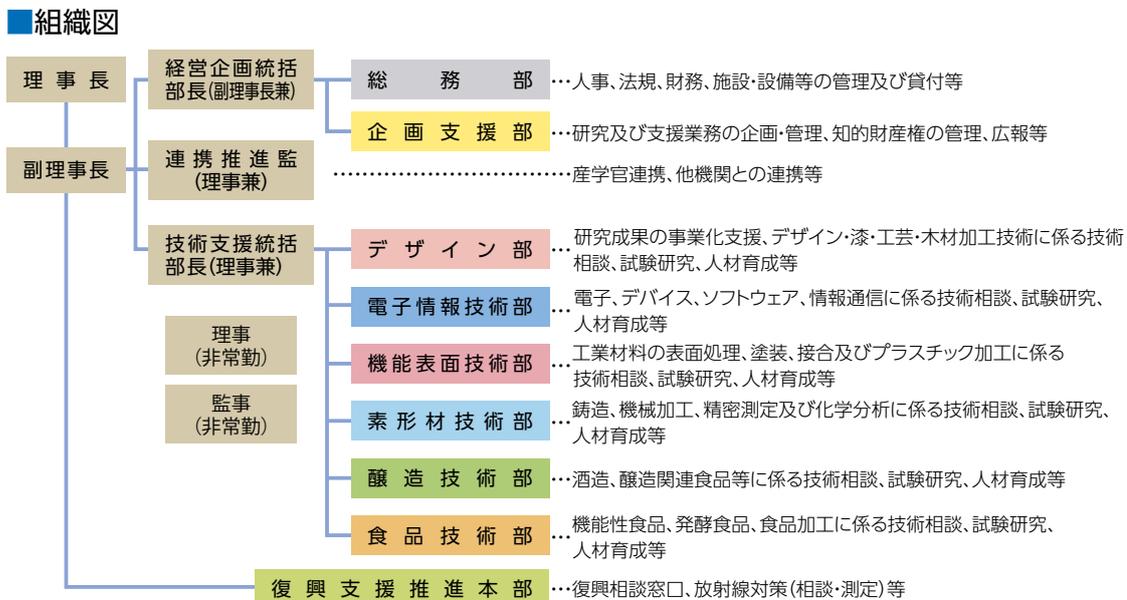
今年度におきましても、その基本姿勢のもと、震災復興支援を引き続き最重要課題に位置づけ、被災
企業の具体的な課題解決に向けて積極的に取り組むとともに、県内全域においては、県の産業施策と連
動した中で、研究から事業化までの一貫した企業支援により、その成果の早期事業化と研究開発型企業
としての強化につながるよう取り組んで参ります。

東日本大震災津波から3年数ヶ月が経ちました。今なお被災地域は復興に向けて懸命に動いています。
震災からの復興は、ある意味、新しい地域づくりであり、地域に新しい付加価値をどうつくるのかが問
われていると思います。当センターでは、センター内に設置した「復興支援推進本部」を中心に、セン
ターが一体となって、企業訪問や企業との共同研究などを通じ、被災企業の皆様の取組みを支援して参
ります。技術的な課題から商品開発まで広範囲にわたって相談に応じておりますので、どうぞご利用頂
ければと思います。

また、県内では、ものづくりの分野や環境・エネルギー、さらには地域資源型産業の分野など活発に
動き出しています。当センターとしても、企業の皆様との接点、現場を大事にしながら、共同研究や共
同開発にも取り組み、新しい付加価値の創造やマーケットの拡大、産業人材の育成など、より事業化に
向けたスタンスで取り組んで参りたいと考えております。

今後とも、県民の皆様から信頼され必要とされるセンターを目指して、シーズづくりへの積極的な取
組みとともに、より一層の技術・研究資源の充実を図って参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

II 平成26年度組織の紹介



復興相談専用ダイヤル：019-635-1119 通常のご相談は：019-635-1115

【目次】

I 理事長挨拶	… 1	V 新規導入及び新規貸出設備	… 6
II 平成26年度組織の紹介	… 1	VI 職員の紹介、定期人事異動情報	… 8
III 事業概要	… 2	VII 関係機関の紹介	… 8
IV 平成25年度の主な活動実績	… 2		

技術情報

岩手県工業技術センター
Iwate Industrial Research Institute

2014. 5
No. 32

Ⅲ 事業概要

事業の種類	内容	費用
技術相談	新技術の照会、製品・原材料の分析や技術開発資金など、技術に関する様々な問題についての相談に応じます。	無料
企業訪問	企業等の現場に直接職員が伺い、技術的課題の調査・解決に向けた助言を行います。	
依頼試験・依頼加工	各種分析・計測を行い、その結果を成績書として発行します。また、加工（デザイン加工含む）を行い、加工品をお渡しします。	有料
機器貸出	センターが所有する機器を貸し出します（一部の機器は所外への貸出も行っています）。	
受託研究	企業等の希望により、センターが行う研究です。	
共同研究	企業等の希望により、企業等とセンターが共同で行う研究です。	
デザイン制作	企業等の希望により、デザイン制作を行います（デザイン創作を伴わない場合は、デザイン加工で対応します）。	
研究員派遣	企業等の開発・研究を加速的に進めるため、研究員を一定期間、企業等に派遣します。	
研究開発型人材育成支援	企業等の技術課題解決のため、企業等の技術者を受け入れ、研究開発の支援を行います。	無料
人材育成	講習会・セミナーを開催するとともに、職員を講師として派遣し、企業技術者等の育成を支援します。	
復興支援	東日本大震災津波の被災企業への重点的な巡回訪問、サービス料金の減免、生産活動支援等を行います。	

Ⅳ 平成25年度の主な活動実績

沿岸被災企業等への復興支援事業の実施

担当：復興支援推進本部

1 企業ニーズに即した復興支援

(1) 沿岸被災企業等のニーズ調査と企業訪問等

昨年度に引き続き企業訪問により沿岸被災企業等149社のニーズを調査し、ニーズに応えるため延べ292件の現地支援を行いました。また、沿岸被災企業等220社に対し現地支援を含め858件の支援を行いました。企業訪問は平成26年度も実施いたします。技術課題でお悩みの企業様におかれましては、是非ご利用ください。

(2) 沿岸食品事業者を対象とした商品開発相談会の開催

昨年度に引き続き岩手県（産業経済交流課）及び岩手県産(株)と連携して開催しました。

沿岸被災地域5会場（大船渡会場、釜石会場、宮古会場、大槌会場、陸前高田会場）にて開催し、当センターが対応した企業等は23社でした。この相談会は平成26年度も開催いたします。

沿岸地域の食品事業者様におかれましては、是非ご利用ください。

2 首都圏での販路開拓支援の実施

(1) いわて銀河プラザテストマーケティングの開催

岩手県（産業経済交流課）及び岩手県産(株)などと連携し、平成26年1月10日（金）～13日（月）まで、いわて銀河プラザ（東京都中央区銀座）にて開催しました。県内沿岸地域の食品事業者5社が開発した新商品等のテスト販売を支援しました。

(2) 県内食品関連事業者の「復興デザインマルシェ」（主催：（公財）日本デザイン振興会）への出展を支援

沿岸地域を中心とした県内食品関連事業者4社の展示・販売会「復興デザインマルシェ」（平成26年3月8日（土）～9日（日）、東京ミッドタウン（東京都港区赤坂）にて開催）への出展支援を行い、当センターと共同開発した製品の販路開拓を支援しました。

(3) 沿岸被災企業等の商談会への出展を支援

沿岸被災地域の食品関連事業者12社の商談会「『食の魅力』発見プロジェクト2013」への出展を支援しました。（デザイン部との共同事業）



東京ミッドタウンでの展示・販売会の様子

3 放射能汚染対策事業の実施

企業様からの依頼により、工業製品や加工食品等の放射能濃度等の測定（Ge半導体検出器による放射能濃度測定：40件72検体、サーベイメータによる表面汚染測定：2件2検体）を実施しました。また、放射能汚染等に関する相談30件に対応しました。

4 復興支援関連研究の実施

JST（独立行政法人科学技術振興機構）復興促進プログラムなどの外部資金を活用し、15テーマの復興支援関連研究に企業様と共同で取り組みました。

平成26年度も当該研究の推進と成果の早期事業化に取り組む予定です。

伝統的工芸品と物づくりに関する研修会の実施

担当：デザイン部

伝統的工芸品「岩谷堂筆筒（いわやどうたんす）」を製造している奥州市の(有)藤里木工所では、伝統的工芸品次世代継承事業によって2名の社員を採用しました。

当センターが(有)藤里木工所のご依頼により新入社員を対象とする社内研修を企画提案し、講師もつとめました。

「伝統的工芸品と物づくり」をメインテーマに木材加工の基本から伝統的工芸品と岩谷堂筆筒、家具の基礎知識まで全5回の研修を行い、専門的知識を深める事に役立つものとなりました。

- 第1回「木材加工について」
- 第2回「伝統的工芸品岩谷堂筆筒について」
- 第3回「続・伝統的工芸品岩谷堂筆筒について」
- 第4回「伝統的工芸品と物づくり」
- 第5回「木製家具の基礎知識」

当センターでは、このように通常の講習会、セミナー等では対応できない技術分野について、お客様のご要望に応じたオーダーメイド型の研修に対応いたします。是非、ご相談ください。



研修の様子

食産業の商品開発・販路開拓支援

担当：デザイン部

東日本大震災津波による被災企業様の復興支援のため、商品開発やデザインに関するセミナーや販路開拓支援を行いました。平成26年度もさらに内容を充実させて継続して取り組む予定です。

活動項目	活動実績			
	テーマ	講師	場所	参加者
1 商品力向上セミナー	商談につなげる食品成分分析・表示、食品衛生管理	岩手県薬剤師会検査センター 佐々木知美氏、小野寺浩子氏	大船渡市 宮古市 久慈市 盛岡市	のべ 160名
	商品の魅力を伝えるデザイン	(株)エディンズ 金谷克己氏 Kid's 木村敦子氏 ワニーデザイン 村上詩保氏		
2 パッケージデザイン等開発支援	食品加工事業者とデザイナーとのマッチングを目的に、6件のデザイン制作を支援 ※件数は平成26年3月31日現在。継続中含む。			
3 食品成分分析	商品の魅力向上に向けた取組として、8社の食品成分分析を支援			
4 販路開拓支援	(1) 商談会「『食の魅力』発見プロジェクト2013」への出展支援(県内食産業事業者20社)			
	(2) 食産業関連バイヤー6名を招聘して商談・アドバイスを実施(県内食産業事業者21社)			



三陸ベニマル様(大槌町)のロゴ、商品(ディレクション/デザイン: Kid's 木村 敦子 氏)



商談会の様子

海藻製品を対象とする非破壊品質検査装置の開発
[平成24-25年度JST復興促進プログラムマッチング促進 タイプI]

担当：電子情報技術部

研究開発参画機関：重茂漁業協同組合、(株)マイクロメジャー、
岩手県水産技術センター、(地独)岩手県工業技術センター

本県沿岸で生産される養殖ワカメは、大半が「湯通し」と「塩漬け」が施された塩蔵加工品として流通しています。

その品質を保存性良く維持するためには水分量の管理が重要ですが、現状の出荷検査では、乾燥重量法によるバッチ式検査のため手間と時間を要しています。

そこで、これらの問題を解決するために、本研究ではマイクロ波照射方式の水分量測定技術の応用を検討しました。

この測定技術では、非破壊、簡便、連続処理が可能で、塩蔵わかめの他、海藻製品や食品にも応用できる技術として期待されます。



塩蔵わかめ



試作機

畜舎用光触媒循環換気装置の開発

[平成23-25年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業]

担当：機能表面技術部

事業実施者：パウレックス(株)、(株)釜石電機製作所、岩手県農業研究センター畜産研究所、
 国立大学法人岩手大学(農、人)、中央農業改良普及センター、
 (独) 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所、
 (地独)岩手県工業技術センター

畜舎の換気不良は家畜の疾病による生産性の低下や臭気に対する苦情の原因となります。

この問題を解決する目的で、農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業(H23~25年度)により、溶射法で作製した光触媒プレートの内蔵する光触媒循環換気装置を開発しました。

開発した本換気装置は、畜舎内のウィルス低減等の環境改善効果があり、家畜にも良い効果が期待できることを明らかにしました。



農場に設置した光触媒循環換気装置

高速粒子衝突を利用した有機固相離型膜・離反膜の実用化開発

[平成23-25年度戦略的基盤技術強化支援事業(サポイン)]

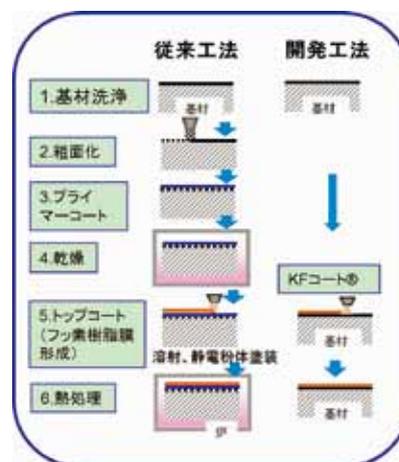
担当：機能表面技術部

事業実施者：(株)スペック、(株)東亜電化、(地独)岩手県工業技術センター

自動車メーカー等では、発泡成形用金型へのプラスチック製品の張り付きや、塗装用治工具等への塗料の堆積を防止するため、人手による離型剤塗布などを行っており、生産性向上および品質安定の足かせとなっています。

このため、これらの金型や治工具等の表面に簡便な工法で形成可能な離型・離反膜が求められています。

本研究では、金型や治工具に高速でフッ素樹脂粒子を衝突させてその表面に数μmの均一な膜を形成するKFコート®を開発するとともに、その膜除去・再処理技術も開発しました。



新しいフッ素樹脂コーティング処理法

高度な医療用鋼製小物開発及びその製品化支援に関する研究

担当：素形材技術部、デザイン部

医療用の鋼製小物(はさみやピンセットなど)は今後、低侵襲性や新しい手術方式に合わせて形状の微細化・複雑化が進んで行くものと考えられます。

そのような鋼製小物の形状に対応し、効率良く生産を行う必要があります。また、開発した鋼製小物の使いやすさを数値的に表すことができれば、手術により適した形状を見つけ出す手がかりになったり、開発した製品のPRにも役立てたりすることが出来ます。このような鋼製小物に対する問題の解決のため、

1. 加工精度を維持したまま、加工能率を上げる方法(写真①)
2. φ0.08mm、L/D=3以上の細穴を連続で開ける方法(写真②)
3. 操作性の定量的評価を行う方法(写真③)

という、3つのテーマについて研究を行いました。



写真① マシニングセンターによる加工実験



写真② φ0.08mmの細穴加工品



写真③ ピンセットの操作性評価

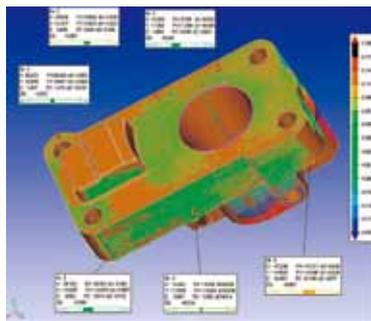
レーザプロブ型三次元測定機を活用したデジタル精密測定 〔研究開発型人材育成支援事業〕

担当：素形材技術部

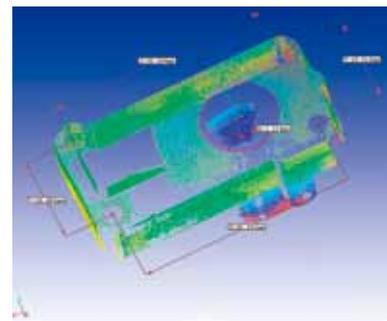
プラスチック製品は金型を用いて製造するため、容易に金型形状と同等寸法に製作できると思われがちです。しかし、実際はゲート位置（樹脂注入口の配置）や成形条件の差異により、反り変形や体積収縮による寸法変化などが生じるため、プラスチック製品の寸法管理に苦慮する場面が多々見られます。その問題を解決するため、県内企業の技術者とともに、プラスチック製品の寸法測定法の構築に取り組みました。レーザプロブ型三次元測定機でプラスチック製品の全体像を点群形式（X,Y,Z座標値のテキスト形式）でパソコンに取り込み、パソコン上でForcus Inspection（デジタル精密測定ソフトウェア）を使用することで、設計値照合による誤差算出やワーク座標系に従った寸法測定が実現できました。この結果、プラスチック製品特有の曲面形状において正確に寸法測定する技術が構築できました。



レーザプロブ型三次元測定機



設計値照合測定



ワーク座標系寸法測定

純米大吟醸「結の香」の販売促進に向けて

担当：醸造技術部

平成24年に品種登録し、昨年製造販売を開始した岩手の酒造好適米「結の香」の純米大吟醸酒が、平成26年4月1日より2年目の販売となりました。当センターでは販売促進に向けたパンフレットやその他販促グッズへのデザイン支援を行いました。また、栽培者毎の酒米分析や試験醸造により品質向上への提言なども行っています。

平成25年度は、登熟期の水害などがあり必ずしも適した栽培条件とは言えませんでしたが、「結の香」ならではのきれいな酒質は保持することができ、酒米の王様「山田錦」に勝るとも劣らない米の性質を証明することができました。今後さらに生産量が増え岩手の代表的な大吟醸酒となるよう、この米に適した醸造法の検討を進めます。



酒造用麴菌「黎明平泉」を用いた畜肉加工品の開発

担当：食品技術部、醸造技術部

当センターでは、発酵技術を活用した新製品開発等に取り組んでおり、なかでも「麴菌」については、「汎用調味料「麴ペースト」の開発（H15-17）」、「酒造用種麴「黎明平泉」の開発（H23）」などを手がけてきました。今回、これらのシーズを技術移転することにより、新しい畜肉加工品が開発・商品化されましたので、ご紹介します。

この開発は、一関地域企業の共同によって進められました。まず、農事組合法人門崎ファームの特別栽培米「メダカ米」と「黎明平泉」を用いて磐乃井酒造(株)で「米麴」が作られ、次に(株)門崎で「野田の塩」を組み合わせた塩麴を製造し、それを利用したオリジナルの高付加価値ハンバーグが完成しました。

この商品は岩手県ふるさと食品コンクールで優秀賞を受賞するなど好評を得ており、「オール岩手の塩麴ハンバーグ」の商品名で(株)門崎経営のレストランで提供されている他、同社ホームページで購入できますので、ぜひ一度ご賞味ください。



V 新規導入及び新規貸出設備

300kN万能材料試験機 型式RTF-2430 (株イー・アンド・デイ製)

【用途】金属材料や複合材料等の引張・圧縮および曲げ試験を行う装置です。

- 【仕様】・最大荷重容量：300kN (30トン)
 ・定速試験、定荷重試験が可能
 ・試験速度：0.0005～500mm/分
 ・保有ロードセル：300kN (30トン)、10kN (1トン)



公益財団法人JKA補助事業
による導入設備



競輪・オートレースの売上金は広く社会に貢献しています。

マイクロフォーカスX線CT装置 型式Y.Cheetah uHD (エクスロン・インターナショナル株製)

【用途】電子回路基板や樹脂、アルミ鋳造品などの透過拡大観察、CT撮影による断面観察ができる装置です。

- 【仕様】・出力管電圧：25-160kV ・出力管電流：0.01-1.0mA
 ・認識解像度：0.5μm ・最大幾何学倍率：3000倍
 ・CTスキャン時間：(最短) 60秒
 ・CT解析ソフトウェア：VG Studio MAX

成長産業・企業立地促進等施設整備費補助事業による導入設備



醸造用精米機 型式NDB-15A (株サタケ製)

【用途】清酒醸造の少量多製品化に対応した装置で醸造用原料米を最少180kgまで精米できます。

- 【仕様】・最大処理玄米数量：600kg ・最少処理白米数量：180kg
 ・ロール回転数600～1200rpm
 ・精米時間の目安
 精米歩合60%まで：24時間 精米歩合40%まで：48時間 精米歩合35%まで：72時間
 ・ロータリーシフターおよび穀粒判別機付

地域新産業創出基盤強化事業による導入設備



BCI/TWCイミュニティ試験器 型式IM5/CS (BCI/TWC) (株東陽テクニカ製)

【用途】車載電装品のハーネスにノイズを注入し、製品の耐ノイズ性を評価するイミュニティ試験装置です。各種規格に対応します。

- 【仕様】・対応規格
 ISO11452-4 : 2011 (BCI法)、E/ECE-R10 (BCI)
 2004/104/EC (BCI)、95/54/EC (BCI)
 ・試験規格
 <BCI試験法>
 1MHz～400MHz Max. 300mA (置換法)
 400MHz～2100MHz Max. 200mA (置換法)
 <TWC試験法>
 400MHz～3000MHz (置換法)
 試験レベルⅢ (27-20dBm, ISO11452-4 : 2011)



地域イノベーション戦略支援プログラム(次世代モビリティ)事業による導入設備

【お知らせ】

岩手県工業技術センターでは、保有する設備・機器・器具を皆様にお貸ししております。(平成26年4月1日現在、325機器)
 貸出可能な機器やお申込方法など詳細につきましては公式ホームページにてご確認いただけます。
 機器に関するお問い合わせは総務部または担当研究員までお願いいたします。

鑄造用湯流れ・凝固解析、熱処理解析システム

【用途】各種鑄造プロセスにおいて溶けた金属の湯流れ・凝固および鑄鋼・鋼材の熱処理プロセスにおける組織変化や温度変化のシミュレーションを行う装置です。

【仕様】(1) 鑄造用湯流れ・凝固解析 JSCAST (クオリカ(株)製)

<解析適用範囲>

材質・材料：鑄鋼、F C、F C D、A l 合金、C u 合金、M g 合金、各種純金属

鑄 型：生砂型、CO₂鑄型、シェル型、金型など

鑄造プロセス：砂型鑄造、金型鑄造、ダイカスト鑄造、精密鑄造、傾斜鑄造、減圧(真空)鑄造、チクソキャストなど

(2) 熱処理解析 GRANTAS (クオリカ(株)製)

<出力項目>温度分布、金属組織、炭素濃度、硬度、残留応力、ひずみ

(3) 3次元モデル作成ソフトウェア KEYCREATOR (クボテック(株)製)

(4) 構造解析ソフトウェア Femap with NX Nastran (株式会社エヌ・エス・ティ製)



JSCAST



GRANTAS

地域イノベーション戦略支援プログラム(次世代モビリティ)による導入設備

微小圧縮試験機 型式MCT-W500 (株島津製作所製)

【用途】微小粒子や繊維等の圧縮強度を測定する装置です。ダイヤモンド圧子により試料単体に負荷を与え、試験力と変位の関係をリアルタイムに測定することが可能です。

- 【仕様】
- ・測定対象：粒子、ファイバー
 - ・測定対象粒子径：0~50 μm
 - ・測定圧子：50 μmフラット圧子
 - ・負荷力：9.8~4900mN
 - ・変形量測定単位：0.01 μm
 - ・サイドカメラ付き

地域イノベーション創出研究開発事業による導入設備



全自動マイクロビッカース硬度計 型式HM-221 (株ミットヨ製)

【用途】微小領域のビッカース硬さを測定する装置です。くぼみ付け、くぼみ読み取りを自動で行うことができます。

- 【仕様】
- ・試験荷重：0.49mN (0.05gf) ~ 19,610mN (2,000gf)
 - ・電動XYステージ：ストローク±50mm
 - ・対物レンズ：10,50,100倍
 - ・全自動測定モード：測定位置決め→くぼみ付け→くぼみ読み取り→移動

地域イノベーション創出研究開発事業による導入設備



断面試料作製装置 型式SM-09020CP (日本電子(株)製)

【用途】走査型電子顕微鏡 (SEM)、X線マイクロアナライザー (EPMA)、結晶方位解析 (EBSD)用の断面観察試料作製装置です。アルゴンイオンビームを用いた断面加工で、歪の少ない試料断面が作製できます。

- 【仕様】
- ・試料サイズ：10×8mm以下
 - ・試料厚さ：2mm以下
 - ・イオン銃：アルゴンイオン
 - ・加速電圧：2~6kV

地域イノベーション創出研究開発事業による導入設備



VI 職員の紹介・定期人事異動情報

●学位(博士)取得

素形材技術部 主査専門研究員 飯村 崇

平成26年3月24日に「精密はさみの高付加価値化技術に関する研究」で岩手大学より博士(工学)を授与されました。博士論文では、理美容のはさみの開閉や切断に必要な力を解析的に求める方法と、はさみによる切断の際に、刃と刃の間に被切断物を挟み込んで切断できない現象を回避するためのはさみの設計方法について研究を行った内容をまとめています。

論文をまとめる際に学んだことを忘れずに、県内企業様の製品造りや技術開発のお役に立てるように尽力いたします。



●退任

副理事長兼経営統括部長 小山 康文 定年退職

●転出(カッコ内は転出先)

総務部	主任	佐藤 博晃	(岩手県福岡事務所)
企画支援部	技師	甲斐谷 梢	(沿岸広域振興局保健福祉環境部)
電子情報技術部	専門研究員	阿部 貴志	(岩手県立産業技術短期大学校)
食品醸造技術部	主査専門研究員	小野寺宗伸	(岩手県水産技術センター)

●転入(カッコ内は旧所属)

副理事長兼経営企画統括部長	黒澤 芳明	(公益財団法人いわて産業振興センター)	
総務部	主査	氏家 鉄也	(盛岡広域振興局経営企画部)
電子情報技術部	主任専門研究員	赤堀 拓也	(岩手県立産業技術短期大学校)

VII 関係機関の紹介



TEL : 019-634-0684

ホームページ : <http://www15.ocn.ne.jp/~hatumei/index.htm>

◆ 発明の奨励と青少年創造性開発育成、ものづくり人材育成支援を行っています。

- ・優れた発明やデザインなどを生み出した技術者、研究開発者や発明の指導、奨励に尽力された方を表彰します。
- ・次世代を担う青少年の豊かな想像力の育成や科学技術・ものづくりの興味・関心を引き出す少年少女発明クラブ活動を支援しています。
- ・ものづくりに関わる知的財産権について、学生・生徒・児童を対象に授業を行います。



岩手県発明くふう展(一般公開日)

◆ 知財総合支援窓口を開設しています。(岩手県工業技術センター、いわて産業振興センターとの共同運営)

- ・特許等の無料相談会を行います。
- ・知財専門家による企業訪問型相談を行います。(直接弁理士等が中小企業様を訪問して相談を承ります。)
- ・共同利用端末機により、どなたでもインターネット出願をすることができます。



少年少女発明クラブ交流会

※上記の詳細につきましては、岩手県発明協会までお問い合わせください。

※岩手県発明協会は、会員の皆様にご支援いただき活動しております。ご入会については随時承ります。

岩手県知財総合支援窓口

TEL:019-656-4114(中嶋AD、加藤AD) TEL/FAX:019-636-0256(佐藤AD)

ホームページ:<http://www.iwate-hatsumeio.org/chizai/>

全国共通ナビダイヤル:0570-082100

(全国どこからでも最寄の知財総合支援窓口につながります。)

こんなときにご相談ください。

- 経営に知的財産を活かしたい
- 特許を出願したい
- 新商品が他社の権利を侵害しないか調べたい
- 他社の特許を使いたい
- 商標やデザインを登録したい
- 公報を閲覧したい
- 知的財産権や支援策について教えて欲しい

※ご要望があれば、貴社に向いて相談・指導を行うことができます。(出張相談無料)

「岩手県知財総合支援窓口」は、中小企業等が知的財産をその経営に有効に活用するための相談・支援を専任のアドバイザーや弁理士・弁護士等の知財専門家によって行うことを目的に設置しているもので、特許庁・東北経済産業局からの受託事業(=特許等取得活用支援事業)として行っています。

○担当 知財総合支援アドバイザー
中嶋 孝弘、佐藤 清子、加藤 雅一

岩手県知財総合支援窓口は、(地独)岩手県工業技術センター、(一社)岩手県発明協会及び(公財)いわて産業振興センターが共同で運営しています。



技術情報No.32 平成26年5月発行
編集/発行
地方独立行政法人岩手県工業技術センター
企画支援部

〒020-0857
岩手県盛岡市北飯岡二丁目4番25号
TEL 019-635-1115(代) FAX 019-635-0311
ホームページ <http://www.pref.iwate.jp/kiri/>
電子メール CD0002@pref.iwate.jp